

# 信州大学 テニュアトラック教員 研究成果発表会

## 陸域生態系—

## 大気間のメタン交換研究の最新動向

メタンは重要な温室効果ガスである。近年、高精度のメタン分析器が利用できるようになり、生態系スケールでの連続的なメタン交換測定が広まりつつある。本ワークショップでは、国内の若手研究者によるメタン交換研究の講演を集め、最新の知見と今後の課題について情報共有を行うことを目的とする。

平成28年3月26日(土)  
13:30~17:00

信州大学 松本キャンパス 理学部多目的ホール

### プログラム

#### 開会挨拶

信州大学テニュアトラック普及・定着事業コーディネーター 伊藤 建夫

#### 講演

1. 信州大学 理学部 テニュアトラック助教 岩田 拓記  
「メタンフラックスの微気象学的観測手法の比較と北方林におけるメタン交換」
2. 大阪府立大学 生命環境科学研究科 准教授 植山 雅仁  
「生態系スケールの連続観測からみた森林と湿原のメタン収支」
3. 京都大学 農学研究科 ポスドク研究員 坂部 綾香  
「温帯ヒノキ林樹冠上におけるメタンフラックスの年々変動」
4. 国立環境研究所 地球環境研究センター 主任研究員 平田 竜一  
「熱帯泥炭林におけるメタン交換量の観測」
5. 農業環境技術研究所 大気環境研究領域 主任研究員 小野 圭介  
「水田におけるメタンフラックスの長期モニタリング」

#### 閉会挨拶

信州大学テニュアトラック普及・定着事業支援教員 田多井 俊夫

お問合せ先



信州大学学務部学務課大学院室

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号 TEL:0263-37-2863 FAX:0263-36-3044

E-mail daigakuin@gm.shinshu-u.ac.jp URL <http://www.shinshu-u.ac.jp/project/tenuretrack/>